

目次

Chapter 1 板橋区が進める都市づくり

板橋都市デザインの推進	P 2
活かしたい「魅力」と「つよみ」	P 3
多様な主体による協働の都市づくり	P 4・5

Chapter 2 板橋都市デザインの実践と展開

3つの都市デザインモデル	P 6
都市デザインモデル01	P 7
都市デザインモデル02	P 8
都市デザインモデル03	P 9

Chapter 3 これからの「めざす都市の姿」

将来像（めざす都市の姿）・3つの都市像	P 10
将来都市構造	P 11
土地利用の方針	P 12

Chapter 4 都市デザインを軸とする分野別都市づくり

分野別都市づくりの基本的な考え方	P 13
各分野に共通する考え方	都市デザイン P 14
分野別都市づくりの方針	グリーンインフラ P 15
分野別都市づくりの方針	道路・交通
分野別都市づくりの方針	住環境・暮らし P 16
分野別都市づくりの方針	安心・安全

Chapter 5 8つのエリアの都市づくり

エリア別都市づくりの方針	P 17
都市づくり推進地区	P 18

本冊子と都市づくりビジョン本編の関係

本冊子は都市づくりビジョンの概要を紹介するものです。各ページの右側の帯部分に本編掲載ページを記載していますので、詳細な記載内容は、本編でご確認ください。



板橋区の都市計画マスタープラン

この計画は、都市計画法第18条の2に基づき、東京都市計画区域マスタープランや板橋区基本構想に即して、板橋区が定める「都市計画に関する基本的な方針」です。

また、都市計画分野の方針に加え、ソフト的な政策分野との連携を含めた総合的な都市づくりの方針を示しています。

計画期間は、令和8（2026）年度から概ね10年後を想定した板橋区基本構想の改定までとし、長期的には概ね20年後を見据えた計画として策定しています。



Chapter 1 板橋区が進める都市づくり

板橋都市デザインの推進

地域の価値を最大化する

「板橋都市デザイン」の考え方で、
予測困難な時代における持続可能な
都市の実現をめざします。

これからの予測困難な時代では、
限られた資源・財源で多様なニーズに対応しつつ、
地域資源や公共空間、公共施設などを最大限に活用し、
身近な生活圏農豊かさを形成していくことが、
持続可能な都市になるためには重要です。

また20年先を見据え、
区や区民等、事業者などの多様な主体が
協働の都市づくりに取り組む大きな力を育てていくことが、
定住や交流、地域活力の維持・増進には不可欠です。

多様な主体が

「地域の価値を最大化する『板橋都市デザイン』」
の考え方を共通認識とする協働の都市づくり
を進めていきます。

地域の価値を最大化する「板橋都市デザイン」

河川、道路、鉄道、建物、公園、広場などの生活の舞台となる「都市空間」全体と、
くらし、働き、学び、楽しみ、憩う、交流するなどのひとが織りなす「都市活動」の営みを
総合的・統一的に捉え、板橋区で育まれてきた自然・歴史・文化などの
地域固有の個性や魅力・つよみを最大限に活かしていくトータルデザインの考え方



Chapter 1 板橋区が進める都市づくり

活かしたい「魅力」と「つよみ」

板橋区には、
都市づくりのトータルデザインに活かしたい、
たくさんの魅力・つよみがあります。

「板橋区に住みたい、住み続けたい、また住みたい」と
思ってもらえる「都市空間」の魅力・つよみがあります。

区には、荒川や崖線などの豊かな自然、街道や鉄道で発展した
歴史、商店街や工場、農業などの暮らしの中で培われた魅力的
な文化が息づいています。

また、鉄道駅から概ね徒歩15分（1.2km）の円を描くと、
区のほぼ全域が覆われ、駅から様々な場所に移動しやすく交通
や生活の利便性が高い特色があります。

地域の個性や特徴が際立ち、区内で進展する都市づくり
のさらなる推進により、ひとが織りなす「都市活動」が
多様に育まれ、広がっています。

区には、区民等や地域活動団体、事業者、大学・学生など、多
様なひとが様々なスタイルで都市の魅力を高める活動に取り組
んでいます。

また、地域の様々な資源や魅力を体験でき、暮らしの豊かさや
まちの活力を高めるコンテンツ、区が先駆けとなっている取組
が多彩にあります。



生活の舞台となる都市空間



ひとが織りなす都市活動

Chapter 1 板橋区が進める都市づくり

多様な主体による協働の都市づくり

多様な主体が、未来の“板橋”を思い描き、協働の都市づくりを実践していく取組を全区的に波及させていきます。

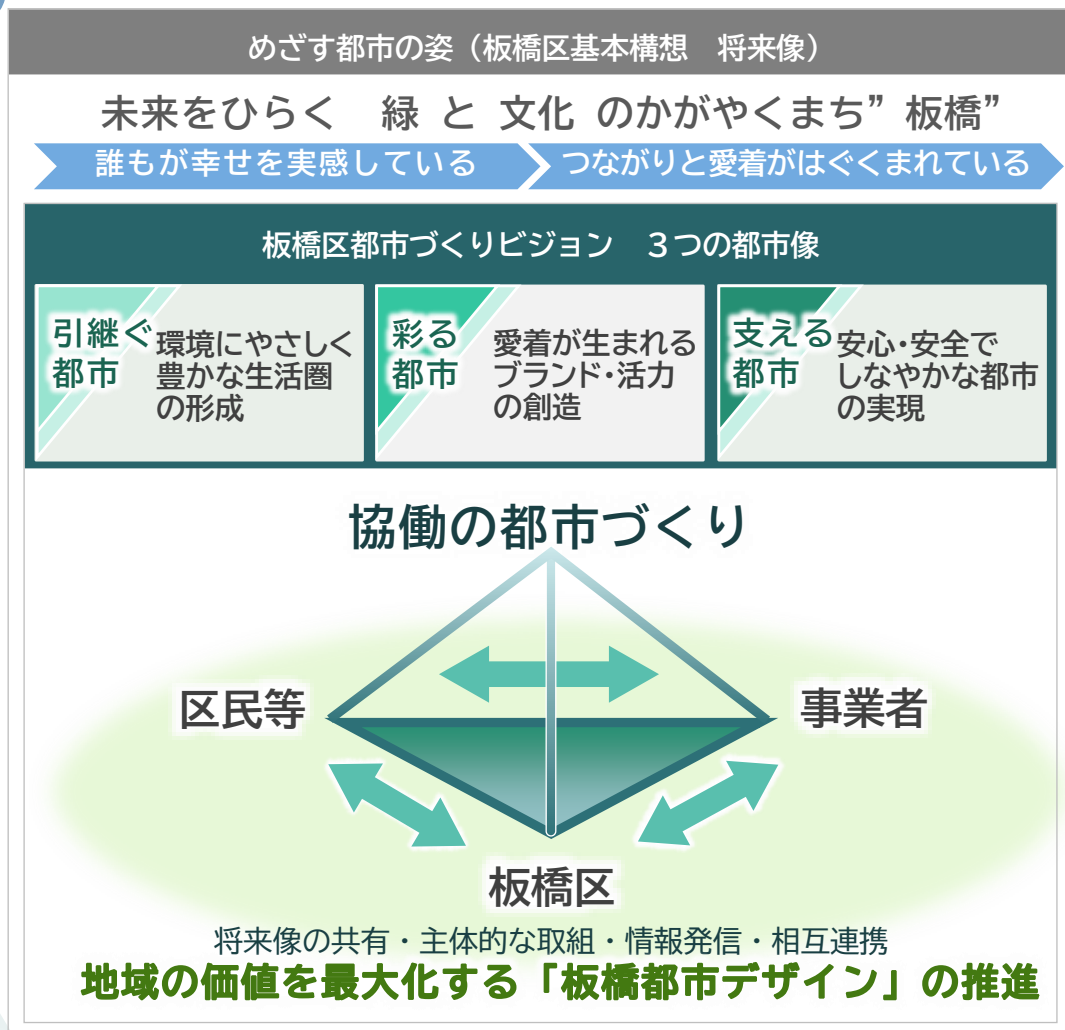
区民・区民団体、区内事業者、交通事業者、開発事業者、大学・有識者・専門家、学生（若者）など多様な主体が、将来像・3つの都市像を共有し、地域の価値を最大化する「板橋都市デザイン」を共通認識とすることで、主体的な取組や情報発信、相互連携などの協働の都市づくりに取り組む大きな力を育てていきます。

板橋区都市づくり推進条例では、都市づくりに関する基本的な理念を定めており、都市づくりビジョンの実現に各主体がその役割と責務を理解し、区がめざす将来像の実現に向けた協働の都市づくりを推進します。

協働の都市づくりに向けた板橋区の実践

- 都市づくりの推進に必要な調査及び計画の立案と計画的な都市づくり
- 多様な主体との協働のまちづくりと段階的な取組への支援
- 事業者との協働のまちづくり
- 都市づくりの情報発信、機運の醸成
- 関係機関との連携、組織横断的な体制の推進
- 専門家や大学などの研究・教育機関との連携と人材育成
- 都市づくり推進条例と関係制度の運用・組織体制の継続的な改善

協働の都市づくり概念図



区民等の取組

- 都市づくりの機運醸成やルール検討、にぎわい活動、維持・保全活動 など

事業者の取組

- 大規模土地などでの開発事業や整備した建築物・公共空間の活用・維持・保全 など

多様な主体による協働の都市づくり

区民等の取組と協働の推進

(地域主体の都市づくりの行動イメージ)

① 地域主体の都市づくりへのきっかけ

個人の気づき

身近な行動範囲から、地域の魅力や課題などの日ごろの気づきをきっかけに、住民同士・事業者・区などによる情報交換・意見交換の場に参加します。

意見交換

② まちを知り、デザインする機運の醸成

集まり・検討

多様な主体の中で、地域の将来像を考え、共有します。
新しい土地利用や民間開発など、地域が大きく変化する前から意見交換し、協力者を増やすため、情報発信を行いながら、将来像の実現に向け活動します。

情報発信

③ 多様な主体が連携した活動の推進

組織化・計画策定

検討の熟度に応じて、まちづくり協議会の設立や地区計画などの誘導手法を区と協議し、地域主体の活動を持続的に進める体制や運用を実践します。

運用・維持管理

多様な主体との連携

建築・開発のルール（制限）だけではなく、事業者と地域活動を連携して行える協働の関係性を築くとともに、専門家や若者などの多様な人材を巻き込みながら、魅力あるまちづくりを展開します。

活動の発展

事業者の取組と協働の推進

(大規模土地などにおける都市づくりの行動イメージ)

① 社会貢献・地域貢献の取組

地域の把握

民間開発を行う場合、関係条例や要綱の情報収集だけでなく、地域の特徴把握やエリア別の都市づくり方針などを確認します。

区政などへの貢献

大規模な土地利用転換においては、地域への影響とその対応策、考え得る社会貢献を積極的に盛り込むとともに、区からの求めに協力し、解決に向けた協議を行います。

② 民間開発の計画と地域への発信

計画協議

構想・計画がまとまる前の段階から、区や地域住民とコミュニケーションをとり、地域への配慮事項などを把握します。地域から民間開発への懸念が示された場合は、真摯に受け止め、対応策を講じます。

説明・周知

良好な住環境や地域価値の維持・向上に資する開発計画であることについて、区や地域等に、丁寧かつ十分な説明に努めます。

③ 民間開発と地域における継続的な活動

公共空間の活用

事業区域だけではなく、周辺のまちの魅力・価値が向上するよう、区民等や専門家、若者などの多様な人材を巻き込みながら、継続的な都市づくり活動やその協力に努めます。

維持管理

建築物・工作物や公共空間については、計画的な修繕計画や維持保全計画を作成し、適切な維持・管理を行います。

3つの都市デザインモデル

「板橋都市デザイン」を牽引するモデルの取組を発信し、全区的な都市づくりに波及させます。

3つのモデルによる「板橋都市デザイン」の実践

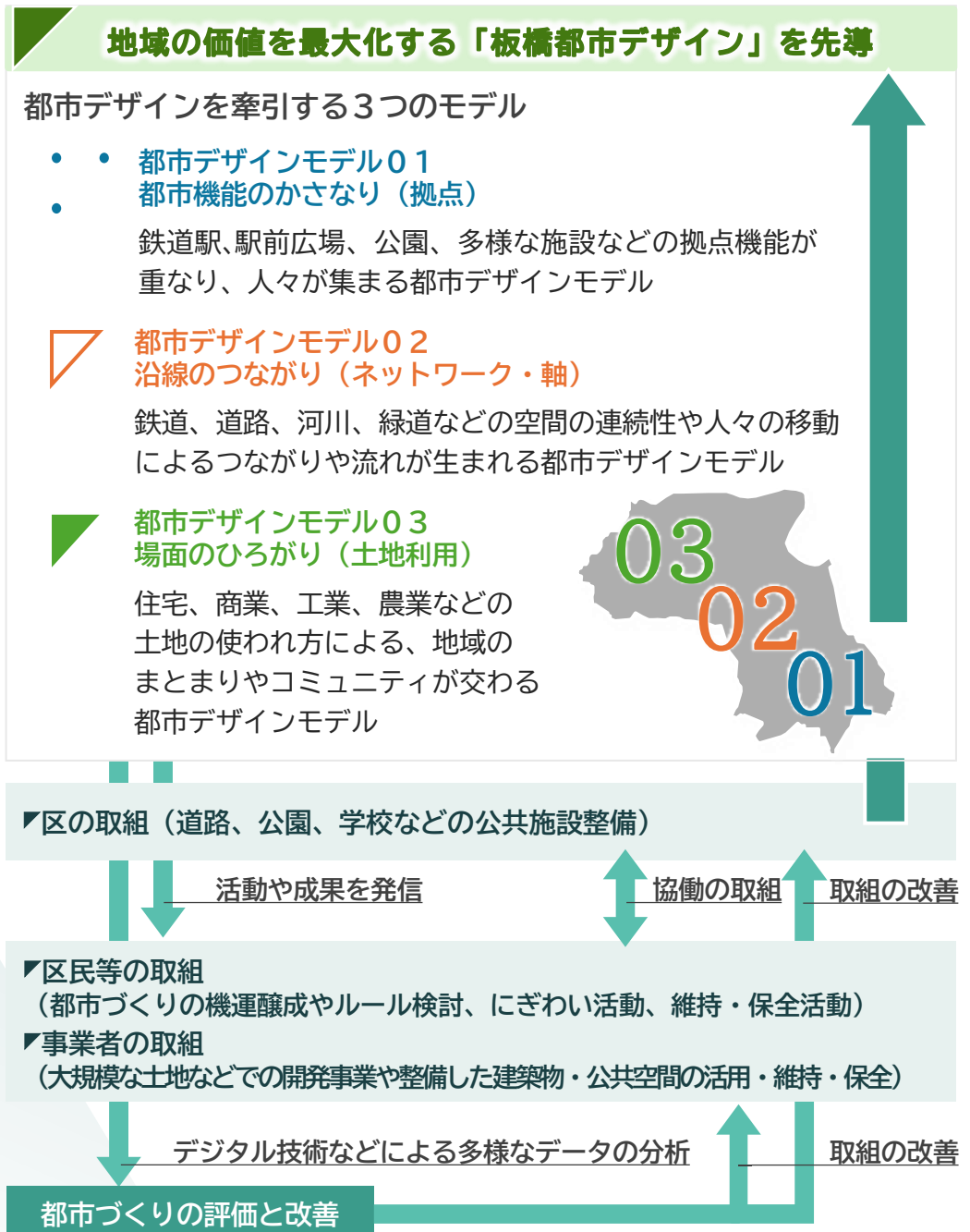
3つの都市デザインモデルでは、地域の自然・歴史・文化や暮らしの積み重ねを尊重しながら、都市の価値を捉え直し、総合的・統一的な視点で計画・設計（活動）・運用（維持管理）に取り組んでいます。

この都市デザインモデルの取組を充実させていくとともに、3つのモデルが示す特徴や活動、成果を発信し、全区的な都市づくりへ波及させていきます。

都市デザインモデルによる波及効果

- ▶ 分野横断的な連携、関係機関との連携、官民連携を促進
- ▶ 周辺の開発事業などが互いに作用し、相乗効果によって地域の価値を最大化
- ▶ 先進的な取組や新しい都市サービスの実証実験などのノウハウを全区的に活用
- ▶ 取組の効果を検証するため、デジタル技術などの積極的な活用により、様々なデータを蓄積しながら、全区的な取組の検討に活用

板橋都市デザイン推進の概念図



都市デザインモデル01

都市機能のかさなり 多様な都市機能が交わる“都市の節点”

鉄道駅や商業集積地、行政・医療・文化などの公共機能が集中する都市機能中枢域では、人の移動や滞在、活動が密度高く交錯します。この都市デザインモデルでは、都市機能が単に集まるのではなく、多様な活動ができる建物と公共空間のトータルデザインによって、人々が自然に集まり、回遊し、さらなる活動と魅力を生み出します。



都市機能と公共空間の集積モデル「加賀周辺」

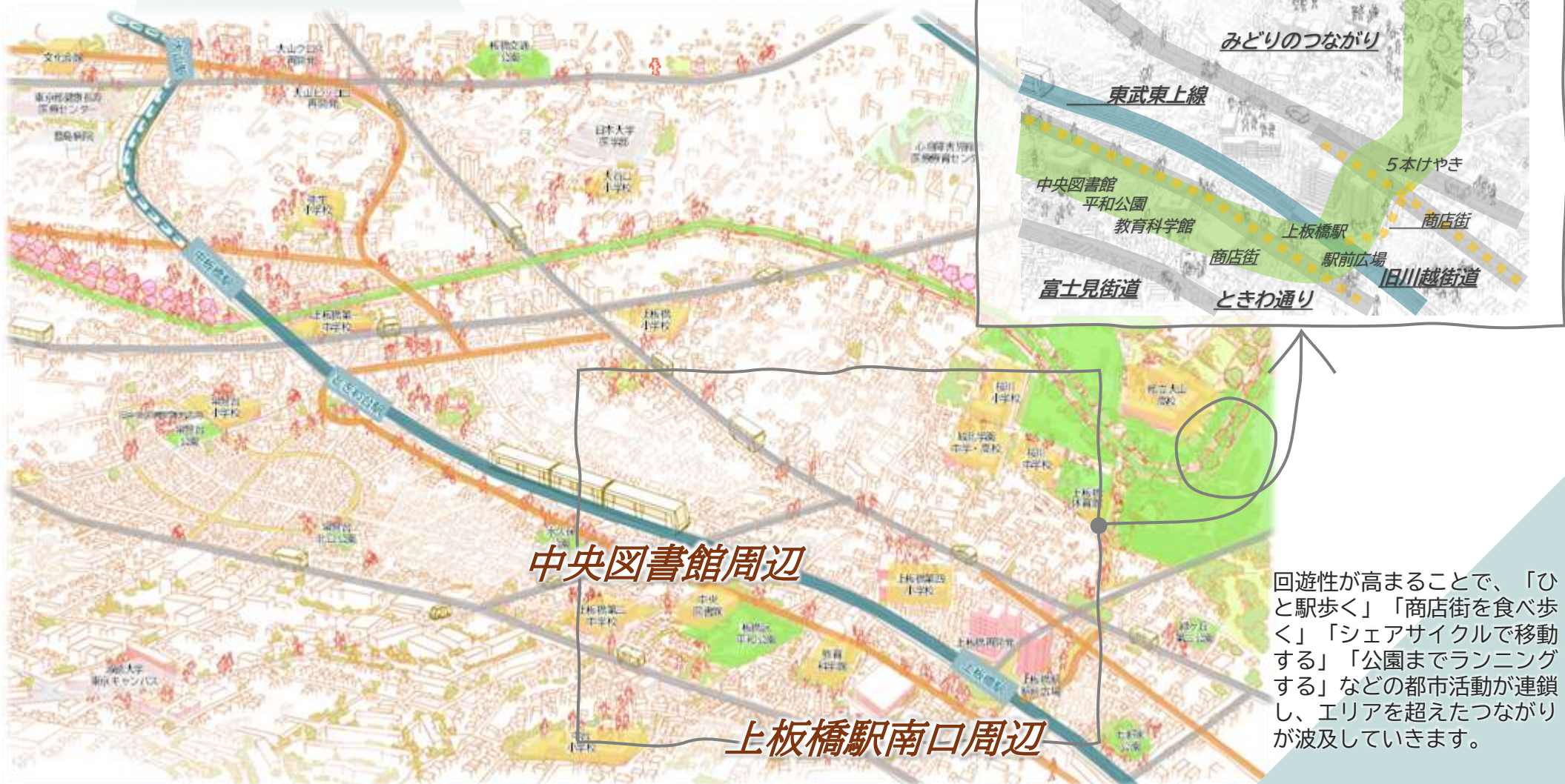
加賀周辺では、体育館・庭球場・図書館・公園といった目的地となる区立施設や教育・医療施設などが集まり、石神井川の緑道によって、回遊性が高められています。土地利用転換によるマンション開発や公共施設の更新において、地域との協議などにより、良好な街並み景観や広場空間の創出が誘導され、自然・歴史・文化が調和する高質で魅力ある都市空間が生まれています。

魅力的な空間が集まることで、多様な人々が、「緑道を散歩する」「ベンチに座る」「本を借りる」「テニスをする」「公園で遊ぶ」「歴史を学ぶ」など、自由に都市活動を行い、集まり、重なり、持続的な魅力が生まれます。

都市デザインモデル02

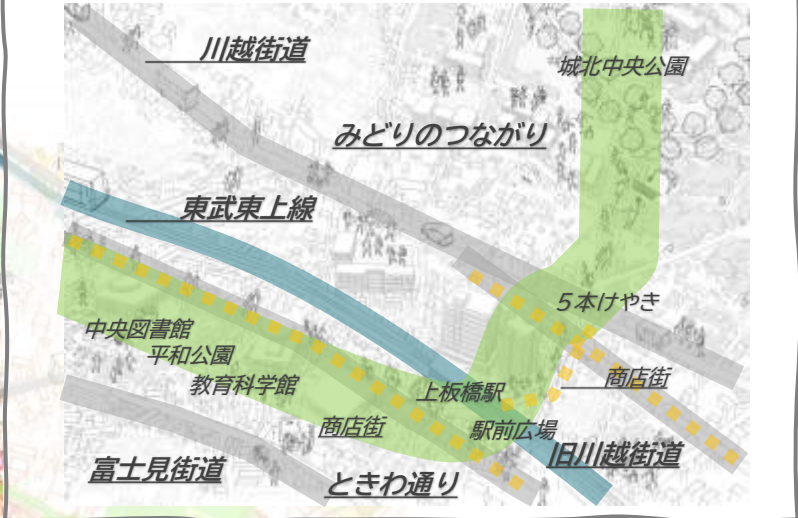
沿線のつながり 地域資源と活動をつなぐ“都市の結線”

鉄道や街道、河川、緑道などの線的な要素は、地域を通り、点と点を結び、流れを生みます。この都市デザインモデルでは、沿道の街並みの統一感、公園や緑道、道路空間などのウォーカブルな空間形成、目的地の円滑な移動、公共空間でのイベントや活動の連鎖などを通じて、地域の回遊性と一体感を生み出します。



地域資源と活動のつながりモデル「上板橋駅周辺」

上板橋駅周辺では、宿場や駅を結ぶ川越街道や富士見街道、東武東上線が東西へ伸びており、南北で分かれて、商店街や住宅地が発展しています。中央図書館のみどり空間の高質化や南口駅前広場の整備による新たなみどりによって、五本けやき、都立城北中央公園のみどりが強く結ばれるとともに、駅まち空間や商店街沿道の良好な街並み、ウォーカブルな空間、魅力的な鉄道沿道整備、次世代モビリティの活用などにより、地域資源がつながり、回遊性が生まれます。



回遊性が高まることで、「ひと駅歩く」「商店街を食べ歩く」「シェアサイクルで移動する」「公園までランニングする」などの都市活動が連鎖し、エリアを超えたつながりが波及していきます。

Chapter 2 板橋都市デザインの実践と展開

都市デザインモデル03

場面のひろがり

ひろがりが混ざり合い、くらしの質と共助を育む、“都市の場面”
大規模住宅団地、荒川河川敷、産業の集積、みどりに囲まれた公共空間など、成熟したまちには、地域のくらしと歴史がにじむ多様な“場面”があります。

この都市デザインモデルでは、都市空間のゆとりやみどりを活かして、それぞれの“場面”が融合することで、地域の関係性を深め、支え合い、活動が生まれる土壌を育むことで、次世代へ継承していきます。

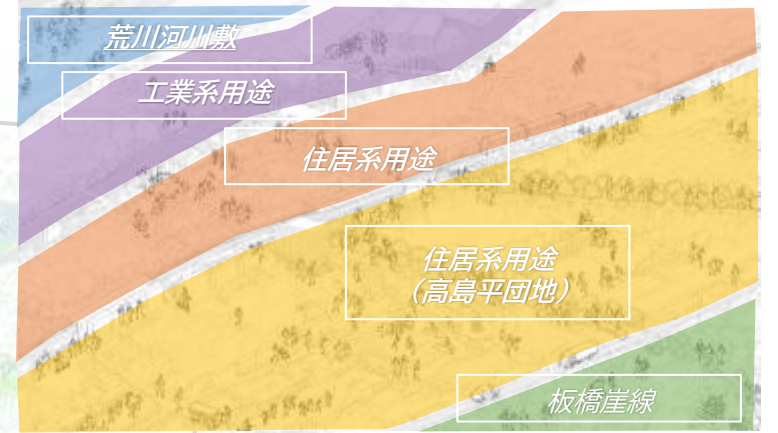
荒川河川敷周辺

新河岸周辺

高島平周辺

地域のひろがりと多様な公共空間活用モデル 「新河岸・高島平周辺」

新河岸・高島平周辺では、計画的に河川や鉄道、道路、緑道、住宅が整備され、荒川河川敷、工業系用途、住居系用途、板橋崖線が带状に広がり、都市が育まれました。UR高島平団地と公共空間の再整備、デッキネットワークの整備などの都市再生や荒川河川敷の魅力的な空間整備により、新たな価値を創出することで、多様な人々の活動において、「お店で買い物をする」「広場のマルシェに参加する」「河川敷で運動する」「工場で働く」「学校で学ぶ」といった行動が変化し、それぞれの地域をつなぐ流れを生み出します。



日常のつながりが、多様な地域活動に発展して交流が広がり、災害時の支え合いにも寄与するコミュニティとなり、安心・安全につながっていきます。

将来像(めざす都市の姿)・3つの都市像

「板橋区基本構想」の将来像を
都市づくりビジョンのめざす都市の姿
として実現していきます。

将来像につながる都市づくり分野の貢献

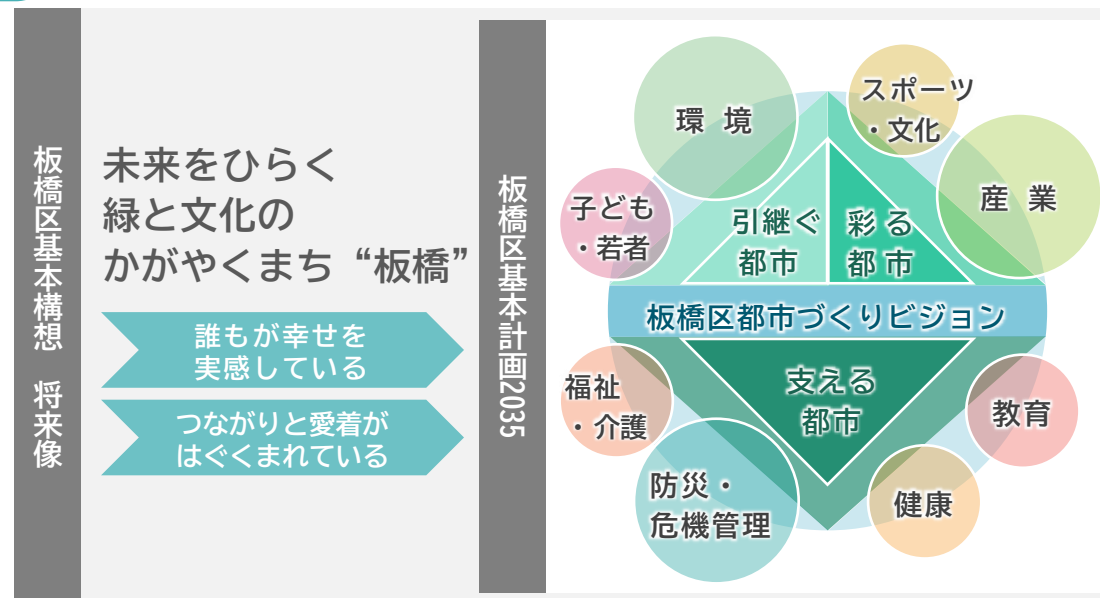
板橋区基本構想で掲げた将来像につながる「9つのめざす姿」を実現するため、都市づくり分野を中心として、防災・危機管理、産業、環境分野のめざす姿をはじめとする8分野の実現に貢献し、将来像・3つの都市像の実現をめざします。

本計画のめざすべき「3つの都市像」

都市づくりビジョンでは、板橋区基本構想の将来像を踏まえ、3つの都市像をめざします。

あらゆる都市活動を「支える」安心・安全な都市の姿を都市像の主軸とし、未来に「引継ぐ」環境にやさしく身近な生活圏を豊かにする都市の姿や地域を「彩る」資源を活かしたブランドを創造する都市の姿を見据え、都市づくりに取り組みます。

板橋区基本構想・基本計画と都市づくりビジョンの関係図



本計画のめざすべき「3つの都市像」

引継ぐ
都市

環境にやさしく
豊かな生活圏の形成

- ▶キーワード
環境負荷の低減、資源の有効活用
みどりの保全
身近な生活圏の魅力
デジタル技術
未来を担う子どもたち

彩る
都市

愛着が生まれる
ブランド・活力の創造

- ▶キーワード
板橋の自然・歴史・文化
幸福、彩り、愛着
住みたくなる、住み続けたい、
また住みたくなる
多様な主体との創造

支える
都市

安心・安全で
しなやかな都市の実現

- ▶キーワード
強靱な都市、持続可能な都市
日々の安心、災害時の安心
健やかで共に支え合う
自助・共助の強化
多様な主体のつながり

将来都市構造

身近な生活圏の回遊性を高める
将来都市構造の方向性を
示します。

区々のよみである交通利便性の高さ、
充実した医療・産業・商業などを

「都市空間」と「都市活動」の効果的な連携により、
それらをさらに発展させることで、鉄道駅を中心に
都市機能が集積した個性ある拠点を形成します。

それぞれの拠点を、鉄道だけではなく、バス路線や進
化・多様化するモビリティ、ウォークブルな空間で結
び、人々の回遊を生み出していくことで、「ネット
ワーク型集積都市」を形成します。

将来都市構造の要素

ネットワーク

- ▶ 強靱な道路ネットワーク
- ▶ 地域交通結節点とモビリティのネットワーク
- ▶ 鉄道を軸に相互に連担する拠点ネットワーク
- ▶ みどりと水の回遊ネットワーク

軸

- ▶ 都市骨格軸
- ▶ 広域移動軸（鉄道路線・バス路線）
- ▶ 崖線軸
- ▶ 河川軸

拠点

- ▶ 都市機能中枢域
- ▶ 都市拠点
- ▶ 生活の拠点
- ▶ 地域交通結節点
- ▶ みどりの拠点
- ▶ 物流拠点

将来都市構造図



土地利用の方針

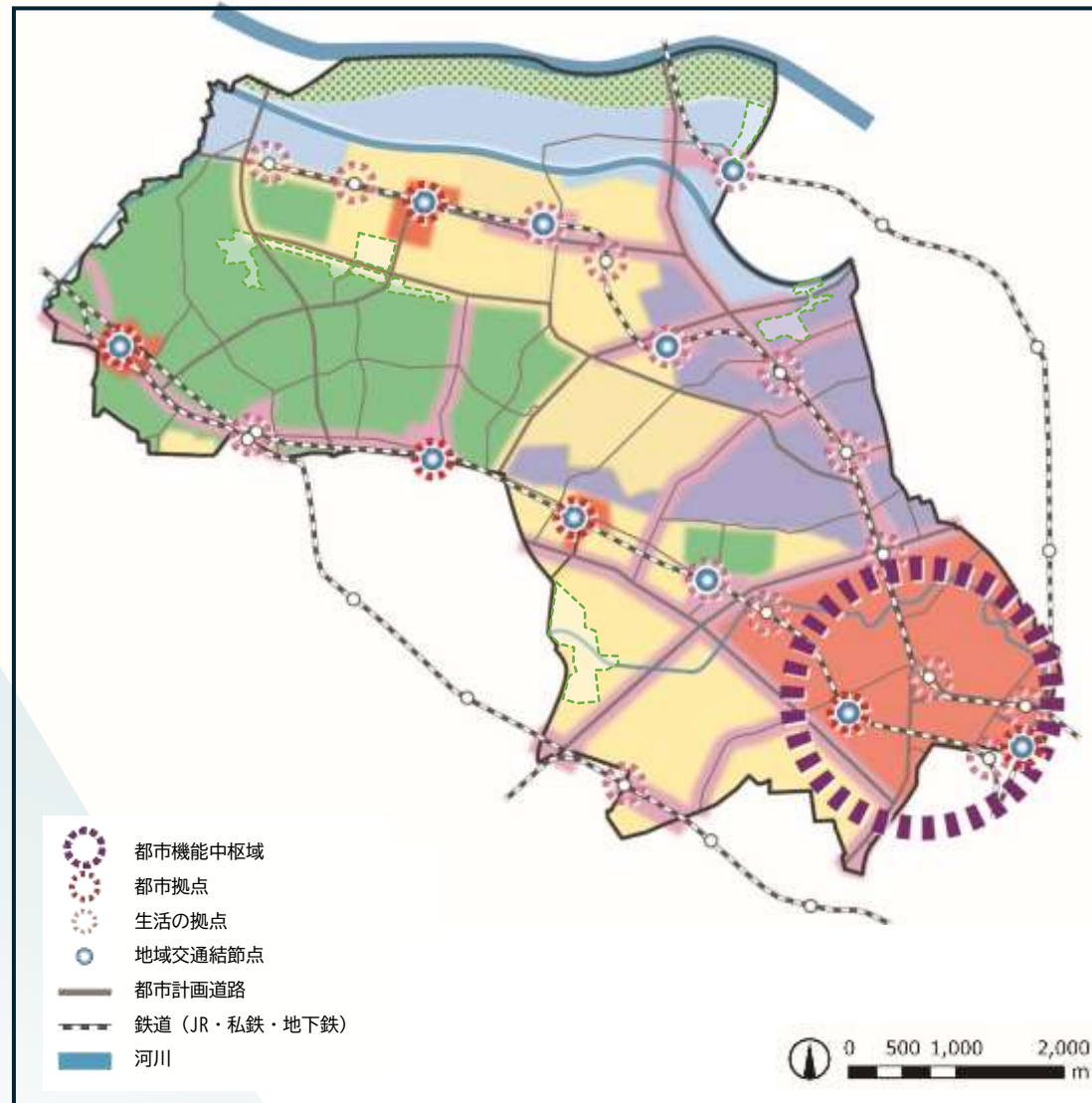
将来都市構造を基本に、
多様な地域の特徴を活かし、
調和する土地利用を誘導します。

適切に都市計画制度を活用しながら、良好な環境の維持・向上、大規模な民間開発の規制誘導、産業活力の維持・育成を図り、都市機能中枢域や都市拠点、生活の拠点などを核とした都市機能を誘導します。
道路基盤が整っていない市街地環境の改善を推進するとともに、大規模な土地利用転換に対して、地域課題の解決や周辺環境との調和に配慮した良好な土地利用の転換を誘導します。

土地利用の区分

- ▶ 都市機能集積ゾーン
- ▶ 生活利便性向上ゾーン
- ▶ 都市型産業育成・更新ゾーン
- ▶ 産業と住宅の共存ゾーン
- ▶ 多様なくらしが共生するゾーン
- ▶ 閑静な住宅地保全ゾーン
- ▶ みどりの拠点となる荒川河川敷
- ▶ みどりの拠点となる公園

土地利用方針図



分野別都市づくりの基本的な考え方

「板橋都市デザイン」を軸とした分野別都市づくりを進めます。

分野別都市づくりの方針

将来像・3つの都市像の実現に向け、地域の価値を最大化する「都市デザイン」を軸にして、5つの分野で都市空間整備の方針を構成しています。

また、3つの都市像を見据えたまちの姿と都市空間を活用した都市活動を示すことで、都市づくりを進める多様な主体との協働を図り、将来像の実現をめざします。

区施策の組織横断的連携

板橋区基本計画2035では、本計画の基本となる都市づくり分野と8つの分野の組織横断的な連携によって区施策を戦略的に推進し、生活の舞台とある都市空間整備と、ひとが織りなす都市活動の取組を推進していきます。

3つの都市像を見据えた分野別のまちの姿の関係図

	引継ぐ都市	彩る都市	支える都市
都市デザイン 各分野に共通する基本的な考え方	進化するデジタル技術による都市づくりの政策と実践 都市づくり×DX	板橋固有の資源や文化を活かしたブランドの創造と発信 地域資源×プロモーション	公共施設を核とした身近な生活圏の交流と活動 公共施設×価値創造
グリーンインフラ みどりと水辺に彩られ、ひとの活力をつなぐ都市空間	板橋固有の自然を次世代へ引継ぐまち >自然環境の体験・学び >スマート農業 産業 環境	四季折々に彩られるみどりの舞台で楽しむまち >公園、河川敷などでの交流創出 >農業体験などの魅力啓発 産業 環境	気候変動にも対応するみどりと支え合うまち >みどりを守るパークマネジメント >みどりを通じた地域交流 健康 環境
道路・交通 出かけたくなる移動環境・ネットワークを形成する都市空間	身近な交通環境が未来をひらくエコなまち >自家用車に頼らない移動手段 >AIカメラなどで安心な移動 環境 都市づくり	ひと中心で、少し先まで巡り歩きたくなるまち >道路活用によるにぎわい創出 >歩行環境の魅力向上 産業 都市づくり	安全で誰もが安心して出かけたくなるまち >回遊できる緑道で健康づくり >交通ルールやマナーの啓発 子ども若者 教育 健康 都市づくり
住環境・暮らし 愛着と誇りを感じ、暮らし続けたいくなる都市空間	新しく多様なライフスタイルが叶うまち >デジタル技術による暮らしの充実 >エネルギー管理などの脱炭素行動 子ども若者 環境	発展する文化・産業と共に輝くまち >教育・研究機関との連携 >産業の新たな価値創造 >文化的イベントの促進 教育 産業	くらしの居場所を地域で守るまち >地域活動による見守り充実 >ボランティア活動の活性化 子ども若者 教育 福祉介護 健康 産業 都市づくり
安心・安全 災害・環境変化に対応する強靱な都市空間	予測し備える準備が非常時に生きるまち >災害シミュレーション >SNSなどによる防犯・防災発信 防災 都市づくり	日常のつながりが災害時の絆になるまち >防災イベントとにぎわい創出 >災害に備えた企業・団体連携 教育 防災 危機管理	強靱な都市基盤が支え共に助け合うまち >地域での防災訓練 >防災対策マニュアルなどの作成 福祉介護 防災 都市づくり

各分野に共通する考え方 都市デザイン

都市デザインを軸とする都市づくりが
めざす、地域の価値を最大化する

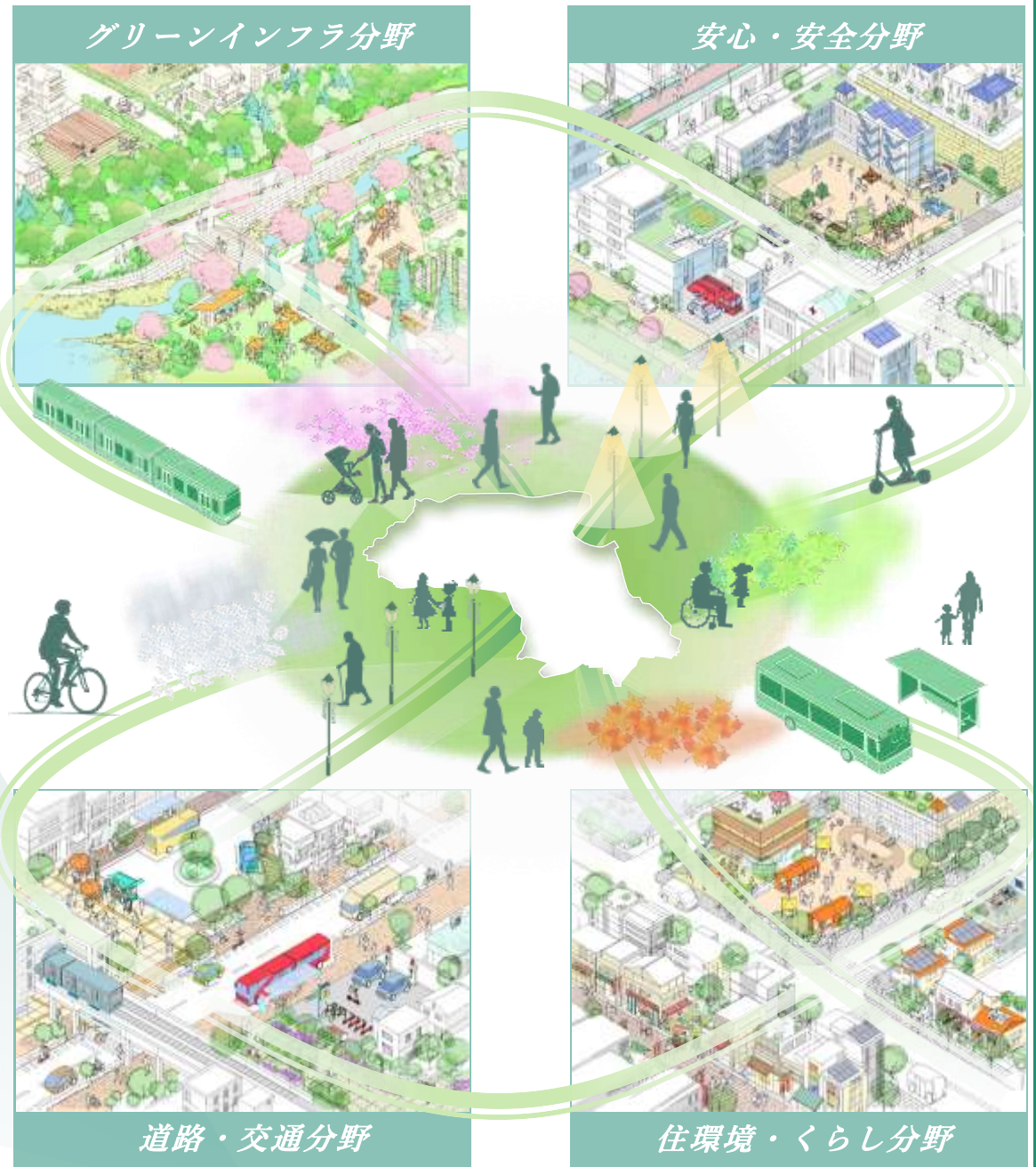
「板橋都市デザイン」

各分野を総合的に捉えながら、都市の成り立ちのなかで育まれてきた自然・歴史・文化などの地域固有の資源を活かし、特色ある公共施設整備や公有地活用、大規模土地利用転換、建築・開発などを契機とした魅力創造・向上をめざします。

四季や時間経過、様々な場面を想定し、「都市空間」と「都市活動」を効果的に連携させ、板橋らしい風景を描き、守り、活かしながら、官民が連携する方針を示します。

都市デザインを軸とする都市づくり

- I 「板橋都市デザイン」による都市づくり
 - ①「都市空間」と「都市活動」のトータルデザイン
 - ②自然・歴史・文化資源をシンボルとした都市デザイン
 - ③未来をひらく創造的な都市デザイン
 - ④先導的な取組モデルの波及
 - ⑤進化するデジタル技術の活用
- II 板橋らしい「都市空間」の整備
 - ①公共施設の高質な空間のデザイン
 - ②公共施設の更新・複合化・多機能化などを契機とした生活圏の魅力創造
- III ③地域課題の解決や魅力創造に資する公有地の有効活用
板橋らしい「都市活動」の舞台づくり
 - ①公共空間の活用と持続的なエリアマネジメント
 - ②地域主体の都市づくり活動の推進
- IV 「都市空間」づくりに向けた開発誘導
 - ①地域の魅力創造・課題解決に資する土地利用転換・民間開発の誘導規制
 - ②景観計画に基づく適正な誘導
 - ③地域の特性に合わせた街並み・環境形成の検討



グリーンインフラ分野

安心・安全分野

道路・交通分野

住環境・暮らし分野

分野別都市づくりの方針 グリーンインフラ

みどりと水辺に彩られ、ひとの活力をつなぐ都市空間

都市空間整備の方針 分野

- 1 グリーンインフラとグレーインフラの融合
- 2 板橋を形成するみどり・水辺の継承
 - ①みどり・水の骨格の維持・形成・更新
 - ②板橋らしさを感じさせる身近なみどりの保全・創出
 - ③「農のある風景」の保全・継承
- 3 生物多様性と持続的な循環の維持
 - ①生物の生息空間のネットワーク形成
 - ②地下水・湧水の保全、雨水の有効利用などの水循環機能の維持
- 4 公共空間とつながる良質な緑地空間の確保
 - ①多様なひとの感性を育む魅力ある公園・緑地の整備
 - ②みどりのつながりがまちなかに広がる空間創出の誘導
 - ③板橋区の街並みと調和させるみどり創出の誘導

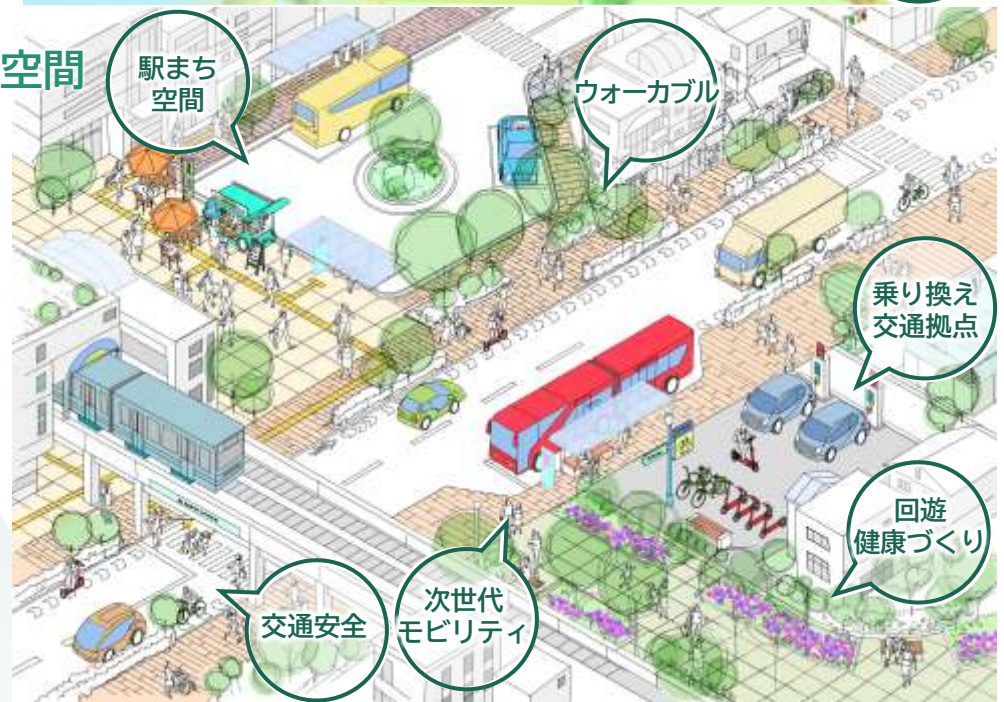


分野別都市づくりの方針 道路・交通

出かけたくなる移動環境・ネットワークを形成する都市空間

都市空間整備の方針 分野

- 1 ひとが主役の交通環境の構築
 - ①次世代技術の導入を見据えた総合的な交通政策の推進
 - ②モビリティの進化・多様化に対応した道路空間の再構築
 - ③交通結節点や周辺施設と一体となる「駅まち空間」の推進
 - ④身近な生活圏における移動環境の充実
 - ⑤誰もが居心地がよく、歩きやすい歩行・滞留空間の充実
- 2 都市活動・産業を支える道路網の形成
 - ①道路ネットワークの形成と階層別の整備
 - ②道路の維持管理
- 3 鉄道路線を軸とした沿線都市づくりの推進
 - ①東武東上線の立体化と沿線の都市基盤整備の推進
 - ②鉄道沿線の都市づくりの推進
- 4 人とモノの移動環境の維持・充実
 - ①鉄道交通などの利便性の向上
 - ②バス交通の利便性の向上
 - ③効率的な物流ネットワークの形成と物流の効率化



分野別都市づくりの方針 住環境・くらし

愛着と誇りを感じ、暮らし続けたいくなる都市空間

住環境・くらしの方針

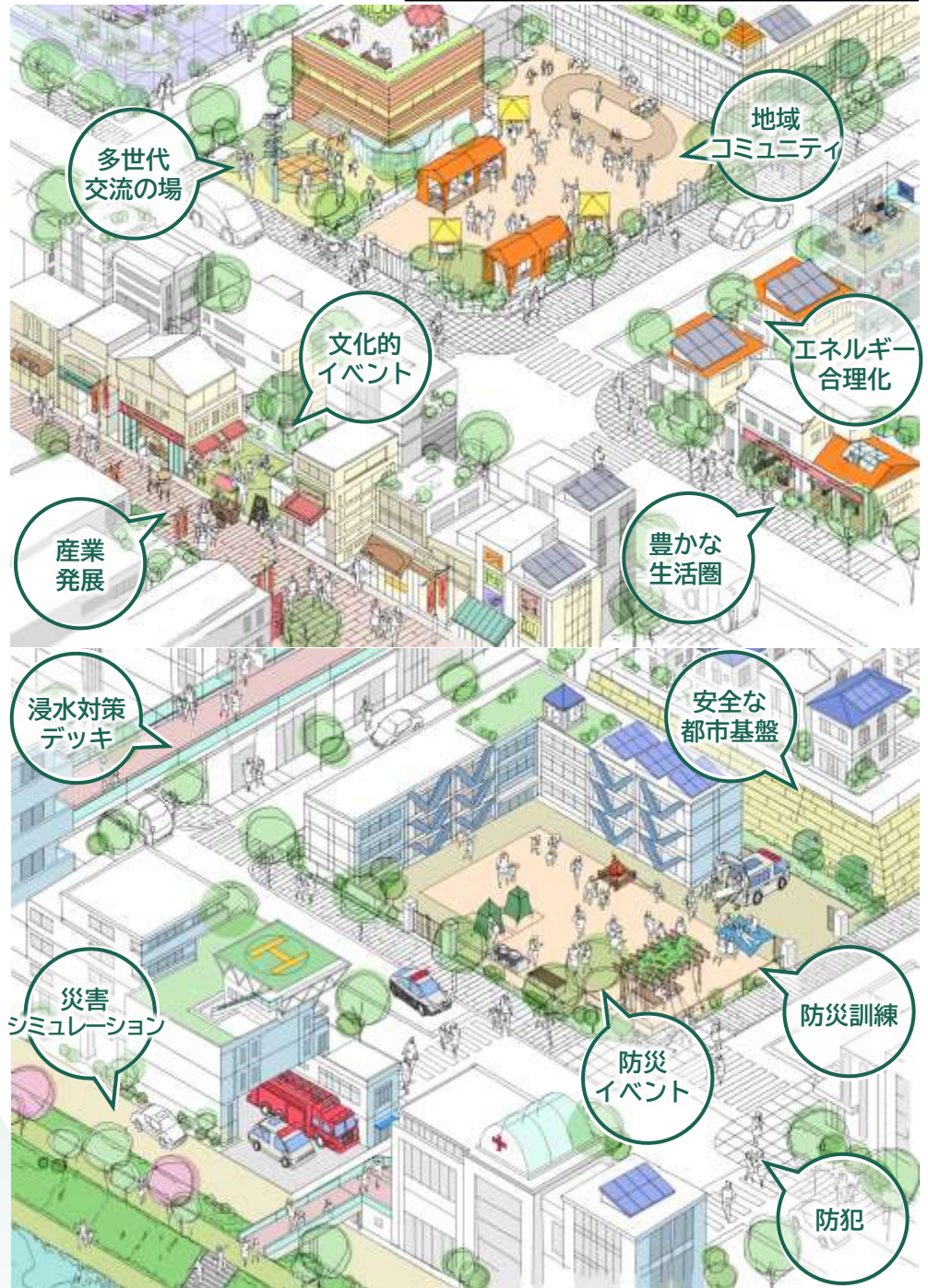
- 1 暮らしの安心を守る住環境づくり
 - ① 地域特性に応じた良好な街並み・住環境の保全・誘導
 - ② 地域特性に応じたくらしを支える環境整備
- 2 生活を支える働く環境づくり
 - ① 生活を支える身近な商業・業務環境の維持・充実
 - ② 社会を支える工業の操業環境の維持・充実
 - ③ 都市農業の営農環境の維持・充実
 - ④ 文化芸術を育む交流空間の充実
- 3 多様なくらしに対応した住環境づくり
 - ① 地域特性に応じた良好な住宅ストックの形成
 - ② 子育て世帯・若年世帯が住みたくする住宅・住環境の充実
 - ③ マンションの適正管理と耐震化・建替えの支援
 - ④ 空き家・空き室などの利活用の促進
- 4 脱炭素による未来を守る建物づくり
 - ① エネルギーの合理化・再生可能エネルギーへの転換
 - ② 資源の適正利用

分野別都市づくりの方針 安心・安全

災害・環境変化に対応する強靱な都市空間

都市空間・安全の方針

- 1 震災・火災リスクへの対応
 - ① 震災・火災に強い都市の骨格形成
 - ② 木造住宅の密集地の改善
 - ③ 細街路の改善
 - ④ 延焼遮断帯の形成や避難場所・避難路の確保
- 2 水害・土砂災害リスクへの対応
 - ① 大規模水害を想定した対策の推進
 - ② 内水氾濫を想定した対策の推進
 - ③ 土砂災害を想定した対策の推進
- 3 防災拠点による地域の防災力向上
 - ① 地域連携による防災対策
 - ② 防災拠点となる公共施設などの整備
 - ③ 防災拠点機能を有する大規模建築物の誘導
- 4 大規模災害などに備えた強靱な都市づくりと復興事前準備の推進
 - ① 複合災害のリスク対策の推進
 - ② 災害時における業務の継続・早期復旧
 - ③ 大規模災害から復興した“あるべき姿”の検討と復興事前準備



Chapter 5 8つのエリアの都市づくり

エリア別都市づくりの方針

将来像・3つの都市像の実現に向けて、各エリアの特徴から多様な価値・魅力を創造し、各エリアの課題に対応したきめ細やかな都市づくりを実現するための方針を定めます。

板橋都市デザインの考え方をもとに、隣接するエリアや隣接する北区・豊島区・練馬区、埼玉県戸田市・和光市における都市づくりの方向性と協調し、連携を図りながら、相互の特徴や地域資源を活かした都市づくりを進めます。

8つのエリア位置図と都市デザインの考え方（抜粋）

赤塚・成増 本編 p151～
崖線の地形的な自然や都市農業の歴史、区立美術館をはじめとする芸術・アートの文化などの地域資源と質の高い公共空間整備が融合し、武蔵野の原風景とアート活動が日常生活に織り込まれ幸福感を感じる都市づくりの推進

徳丸・西台 「板橋崖線」の地形的な自然や都市農業の歴史、重要無形文化財に指定された田遊びを代表する文化などの地域資源と質の高い公共空間整備が融合し、農や自然から季節を感じ、彩り豊かにくらすことができる都市づくりの推進

上板橋・常盤台 崖線の地形的な自然や、伝統ある住宅地の歴史、東武東上線沿線や川越街道沿道で発展した商店街の文化などの地域資源と質の高い公共空間整備が融合し、身近な暮らしに心の豊かさを一層感じる都市づくりの推進

大谷口・向原 都立公園・区立公園・石神井川の自然や寺社遺跡などの歴史、居住と福祉・医療が共存する文化などと質の高い公共空間が融合し、交通結節機能の充実などにより、多様な世代が安心して住み続けたいと感じる都市づくりの推進

新河岸・高島平 本編 p162～
荒川河川敷や崖線の自然や新河岸の工業地帯の産業・歴史、都営三田線沿線や高島平団地で育まれた文化などの地域資源と質の高い公共空間整備が融合し、職・住・遊の充実を感じることができる都市づくりの推進

坂下・舟渡 本編 p174～
荒川や新河岸川の自然や工業地帯の産業・歴史、都営三田線沿線や河川で育まれた文化などの地域資源と質の高い公共空間整備が融合し、くらしを支える産業活力を身近に感じ、魅力的な河川空間を楽しむ都市づくりの推進

小豆沢・志村 本編 p185～
新河岸川・崖線上の小豆沢公園などの自然や都市型産業・中山道沿いの歴史、スポーツ文化などの地域資源と質の高い公共空間整備が融合し、日常生活の中で健康・スポーツを楽しみ、多様な働き方の両立ができる都市づくりの推進

板橋・大山 本編 p104～
都市の魅力が際立つ機能の集積を図り、石神井川の桜並木などの自然や加賀藩の歴史、個性豊かな商店街文化などの地域資源と質の高い公共空間整備が融合し、住み、働き、訪れる人が区内を巡り、愛着を育む都市づくりの推進

〔都市づくりビジョン本編のエリア別都市づくりの方針構成〕

エリアの現状と特徴
都市づくりの課題

歴史・文化・自然や人口・土地利用の現況、公共施設、地域資源など、エリアの特徴・現状を踏まえて、直面する課題を示します。

土地利用の方針
都市空間整備の方針

区全体の土地利用方針や分野別都市づくりの方針について、エリアの特徴を踏まえた考え方を示します。

都市づくり推進地区

これからの20年間で優先的に取組を推進する地区として、都市づくりを展開する方針とその具体的な取組内容を示します。

- ▶ 都市計画が定められている地区
- ▶ 都市計画を定める予定のある地区
- ▶ 既に都市づくりを推進している地区
- ▶ 今後都市づくりを推進していく予定のある地区
- ▶ 鉄道駅などの各エリアの拠点

Chapter 5 8つのエリアの都市づくり

都市づくり推進地区

8エリアの都市づくり推進地区

p113
板橋
・大山

- A-① 都市機能中枢域
- A-② 板橋駅西口周辺
- A-③ 大山駅周辺
- A-④ 板橋区役所前駅周辺
- A-⑤ 板橋本町駅周辺
- A-⑥ 大谷口周辺
- A-⑦ 下板橋駅周辺
- A-⑧ 新板橋駅周辺
- A-⑨ 中板橋駅周辺
- A-⑩ 加賀周辺
- A-⑪ 旧板橋宿周辺
- A-⑫ 石神井川周辺
- A-⑬ 都市計画道路

p126
大谷口
・向原

- B-① 小竹向原駅周辺
- B-② 大谷口周辺
- B-③ 都立城北中高公園周辺
- B-④ 石神井川周辺
- B-⑤ 都市計画道路

p138
上板橋
・常盤台

- C-① 上板橋駅周辺
～ときわ台駅周辺
- C-② 上板橋駅周辺
- C-③ ときわ台駅周辺
- C-④ 常盤台一・二丁目周辺
- C-⑤ 中台二丁目周辺
- C-⑥ 若木周辺
- C-⑦ 石神井川周辺
- C-⑧ 都市計画道路

p148
徳丸
・西台

- D-① 東武練馬駅周辺
- D-② 西台一・二丁目周辺
- D-③ 四葉二丁目
・徳丸八丁目周辺
- D-④ 崖線周辺
- D-⑤ 都市計画道路

P159
赤塚
・成増

- E-① 成増駅周辺
- E-② 下赤塚駅周辺
- E-③ 赤塚周辺
- E-④ 崖線周辺
- E-⑤ 成増四丁目周辺
- E-⑥ 都市計画道路

p170
新河岸
・高島平

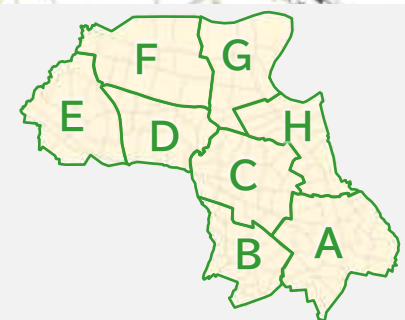
- F-① 高島平地域周辺
- F-② 西台駅周辺
- F-③ 新高島平駅周辺
- F-④ 西高島平駅周辺
- F-⑤ 新河岸周辺
- F-⑥ 荒川河川敷

p182
坂下
・舟渡

- G-① 浮間舟渡駅周辺
- G-② 蓮根駅周辺
- G-③ 舟渡一丁目周辺
- G-④ 舟渡三丁目周辺
- G-⑤ 舟渡四丁目周辺
- G-⑥ 荒川河川敷

p193
小豆沢
・志村

- H-① 志村坂上駅周辺
- H-② 志村三丁目駅周辺
- H-③ 本蓮沼駅周辺
- H-④ 清水町周辺
- H-⑤ 都市計画道路

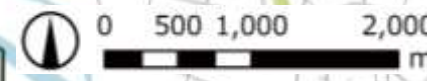


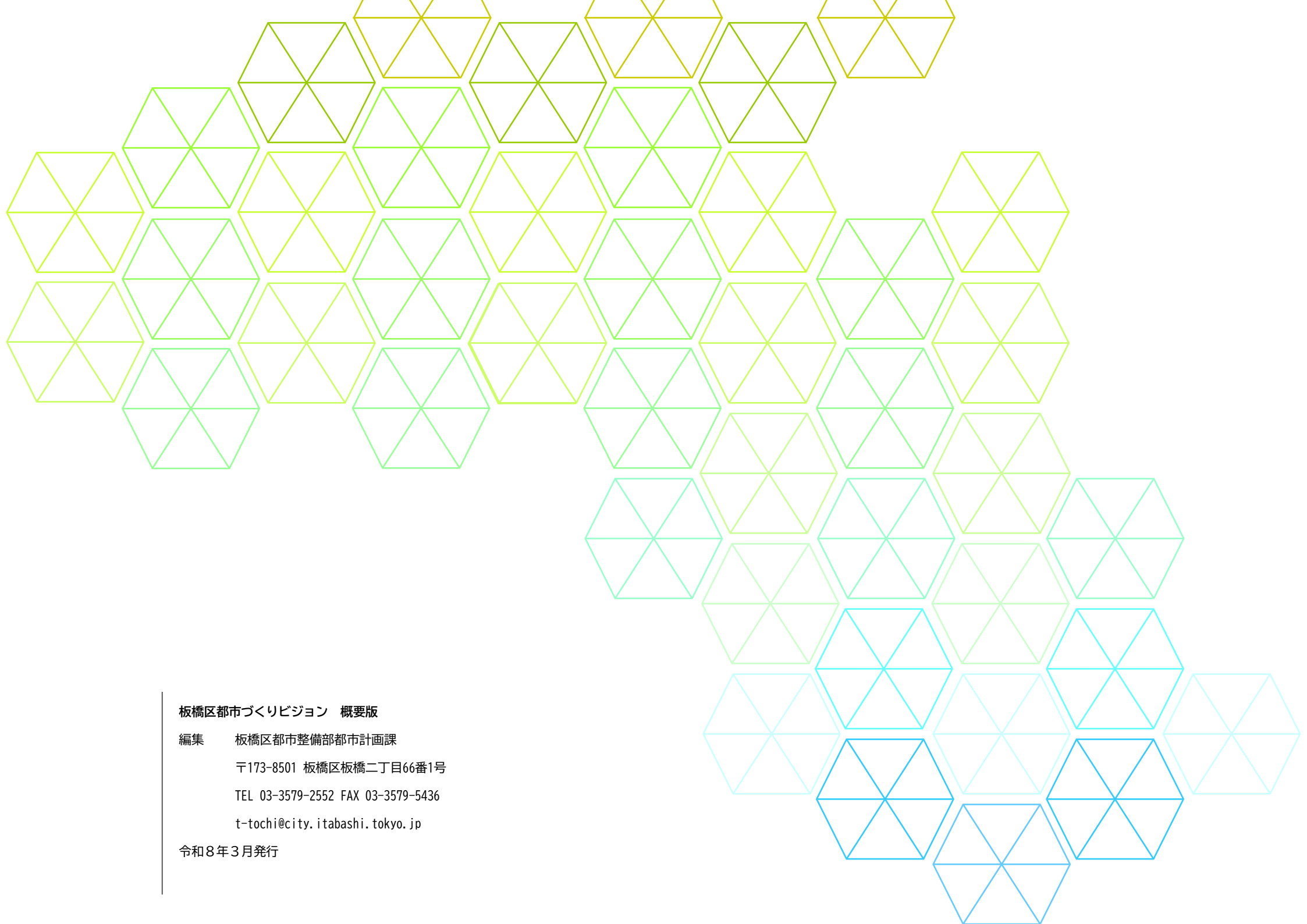
都市づくり推進地区

これからの20年間で優先的に取組を推進する地区として、都市づくりを展開する方針とその具体的な取組内容を示します。

- ▶ 都市計画が定められている地区
- ▶ 都市計画を定める予定のある地区
- ▶ 既に都市づくりを推進している地区
- ▶ 今後都市づくりを推進していく予定のある地区
- ▶ 鉄道駅などの各エリアの拠点

	都市づくり推進地区		都市計画道路
	都市拠点		事業中
	生活の拠点		完了
	都市機能中枢域		未着手
	地域交通結節点		公園
	鉄道 (JR・私鉄・地下鉄)		都市計画公園・緑地
	鉄道立体化・踏切対策		河川 (河川等)





板橋区都市づくりビジョン 概要版

編集 板橋区都市整備部都市計画課

〒173-8501 板橋区板橋二丁目66番1号

TEL 03-3579-2552 FAX 03-3579-5436

t-tochi@city.itabashi.tokyo.jp

令和8年3月発行